

【書式A】 施設名 法人全体 処理番号 2700

中項目	Ⅱ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--

事業名	(1) 共通的な事務の一元化による業務の効率化
-----	-------------------------

事業概要	職員の意識改革を通じて、博物館への来館者や国民等へのサービスの向上を図ると同時に、業務の効率化を図る。
------	---

担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 山内浩一
-----	------	-------	-------	-------------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国立博物館と文化財研究所の統合により、隣接する東京国立博物館と東京文化財研究所が協同して特集陳列「海外所在文化財修理展」や特集陳列「黒田清輝の作品Ⅰ・Ⅱ」を実施。</li> <li>・ 東京文化財研究所内に文化財保存修復科学センターを設置。国立博物館の保存修復担当者を併任させ、情報の共有化、サービスの向上、業務の効率化を図っている。</li> <li>・ 20年4月に開始する人事システムを統合させる作業を実施した。</li> </ul>
-------	---

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京国立博物館と東京文化財研究所との協力については、黒田記念館の管理を東京国立博物館に移したこともあり、積極的に実施している。ただし、東京文化財研究所の事業紹介や黒田清輝関連作品の展示の機会は増加したが、黒田記念館自体への来館者は減少しており、20年度以降、対応を検討していく必要がある。</li> <li>・ 業務の効率化については、2法人が統合した初年度であったこともあり、次年度以降引き続き実施していく。</li> <li>・ 職員の意識改革等に関していえば、18年度に東京国立博物館で実施した業務改善プロジェクトも参考にしながら、本部・各施設においても実施していきたい。</li> </ul>
--------------------------	---

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対し、順調に成果を上げている。
----------------	----------------------

【書式A】

施設名 法人全体

処理番号 2800

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(2) 使用資源の減少
-----	-------------

事業概要	1) 光熱水量の使用状況を把握し、管理部門を中心に引き続き節減に努める。(年間 1.03%減少) 2) 廃棄物の分別収集を徹底し、リサイクルを引き続き推進する。(一般廃棄物排出量を年間 1.03%減少)
------	--

担当者	担当部課	本部財務課(取りまとめ) 東京国立博物館営業開発部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課	事業責任者	事務局長 吉田 靖
-----	------	---	-------	-----------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水料の節減のため、エネルギー効率の良い機器への交換、より安価な供給契約への変更、日常の節電節水等の周知徹底、夏季の軽装等励行、冷暖房の省エネ運転等を引き続き行った。</li> <li>廃棄物削減については、コピー用紙は再生紙の使用、古紙の回収、所内LANの活用による回覧文書のペーパーレス化推進、ディスプレイ材料等の再利用徹底によるリサイクルの推進および経費の節減を図った。</li> <li>また、「環境物品等の調達を推進を図るための方針」を定め、これを推進した。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>使用資源の推移</b> (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事項</th> <th style="width: 25%;">18年度</th> <th style="width: 25%;">19年度</th> <th style="width: 25%;">差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料</td> <td style="text-align: right;">397,511</td> <td style="text-align: right;">397,304</td> <td style="text-align: right;">△207</td> </tr> <tr> <td>水道料</td> <td style="text-align: right;">85,074</td> <td style="text-align: right;">89,081</td> <td style="text-align: right;">4,007</td> </tr> <tr> <td>ガス料</td> <td style="text-align: right;">108,538</td> <td style="text-align: right;">114,008</td> <td style="text-align: right;">5,470</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">591,123</td> <td style="text-align: right;">600,393</td> <td style="text-align: right;">9,270</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事項</th> <th style="width: 25%;">18年度</th> <th style="width: 25%;">19年度</th> <th style="width: 25%;">増減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般廃棄物 (kg)</td> <td style="text-align: right;">230,892</td> <td style="text-align: right;">224,274</td> <td style="text-align: right;">△2.9</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物 (kg)</td> <td style="text-align: right;">75,885</td> <td style="text-align: right;">46,693</td> <td style="text-align: right;">△38.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※計量方式が異なっていたため、廃棄物については東京文化財研究所を除く。</p>	事項	18年度	19年度	差額	電気料	397,511	397,304	△207	水道料	85,074	89,081	4,007	ガス料	108,538	114,008	5,470	計	591,123	600,393	9,270	事項	18年度	19年度	増減率 (%)	一般廃棄物 (kg)	230,892	224,274	△2.9	産業廃棄物 (kg)	75,885	46,693	△38.5
事項	18年度	19年度	差額																														
電気料	397,511	397,304	△207																														
水道料	85,074	89,081	4,007																														
ガス料	108,538	114,008	5,470																														
計	591,123	600,393	9,270																														
事項	18年度	19年度	増減率 (%)																														
一般廃棄物 (kg)	230,892	224,274	△2.9																														
産業廃棄物 (kg)	75,885	46,693	△38.5																														

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	光熱水料は各施設で概ね減少傾向にあるが、東京国立博物館では18年度に比べ入館者が35万人以上も増加し、常時公開スペースも増えた影響で光熱水料が増加したこともあり、一律に減少とはならなかった。 ・一般廃棄物については、目標を大きく上回る減少率となった。
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	
	光熱水料	1.6%増	年間1.03%減	C	
	一般廃棄物排出量	2.9%減	年間1.03%減	A	

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して順調に成果を上げている。
----------------	----------------------

【書式A】

施設名 東京国立博物館 処理番号 2901

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進
-----	---------------

事業概要	パーティー、コンサート、撮影への施設利用（平常展入場券付として新たな入館者の開拓も兼ねる）、茶室の貸出等の促進による施設の有効利用を図る。
------	---

担当者	担当部課	営業開発部渉外課	事業責任者	渉外課長 庄司幸浩
-----	------	----------	-------	-----------

実績・成果	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">施設名</th> <th style="width: 70%;">平成 19 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講堂等</td> <td>407 件 (内 有償貸付 72 件)</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td>334 件 (内 有償貸付 134 件)</td> </tr> <tr> <td>その他 (本館・表慶館・ラウンジ・前庭)</td> <td>144 件 (内 有償貸付 144 件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>885 件 収入額 43,206 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>入館者の拡大を目的とするコンサートとして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーバード大学男性ア・カペラコーラスグループ「クロコディロス」公演 (6月24日 共催：(財) 東芝国際交流財団)</li> <li>・「ファミリーコンサート」(7月22日 共催：東京クラリネットクワイアー)</li> <li>・「ジェラルド・プーレ ヴァイオリンリサイタル」(9月24日)</li> <li>・「エレナ・イオーノワ&amp;ワレーリー・イスリヤイキン オペレッタアリア コンサート」(9月30日 共催：サロン・ド・ソネット)</li> </ul> <p>等を、講演会として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美と知の時代」を支えるミュージアム (4月22日)</li> <li>・「東大寺講演会」(10月30日 共催：東大寺)</li> </ul> <p>演芸として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新春東博寄席」(1月6日)</li> </ul> <p>など様々なイベントを実施した。</p>	施設名	平成 19 年度	講堂等	407 件 (内 有償貸付 72 件)	茶室	334 件 (内 有償貸付 134 件)	その他 (本館・表慶館・ラウンジ・前庭)	144 件 (内 有償貸付 144 件)	合 計	885 件 収入額 43,206 千円
施設名	平成 19 年度										
講堂等	407 件 (内 有償貸付 72 件)										
茶室	334 件 (内 有償貸付 134 件)										
その他 (本館・表慶館・ラウンジ・前庭)	144 件 (内 有償貸付 144 件)										
合 計	885 件 収入額 43,206 千円										

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサート等のイベントを、お客様に展示観覧と併せてコンサート等を楽しんでいただけるよう、開館時間中に実施するものを増やした。(18 件中 15 件を開館時間中に開催)</li> <li>・表慶館における教育スペース「みどりのライオン」、また本館特別 5 室における特集陳列「仏像の道」のオープンに伴って、イベント会場として利用可能な施設 が減少したことを機に、実施イベントについて広範な見直しを図り、平常展のみの期間および開館時間中に開催できるイベントに重点化を行った。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価
	施設の有効利用件数	885 件	—	—
	うち有償利用件数	350 件	—	—

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。
----------------	-----------------------

【書式A】

施設名 京都国立博物館


処理番号 2902

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進
-----	---------------

事業概要	施設の有効使用
------	---------

担当者	担当部課	総務課	事業責任者	総務課長 大西真一
-----	------	-----	-------	-----------

実績・成果	<p>講堂等を積極的に活用するなど施設の有効利用の推進を図った。</p> <p>平常展示館講堂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展覧会等に関する講演会（講座回数 45 回 聴講者数合計 4,329 名）</li> <li>・ 夏期講座（開催日 3 日間 申込者 196 名 当日参加者 160 名）</li> <li>・ イベント開催「京都・らくご博物館」（開催日 4 日 入場者数 703 名）</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">ミュージアムコンサート バレンタインコンサート（開催日 1 日 入場者 112 名）</p> <p>特別展示館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バロックコンサート（開催日 1 日 入場者 224 名）</li> <li>・ チェンバロミニコンサート（開催日 9 日）</li> <li>・ スプリングオペラコンサート（開催日 2 日 入場者 366 名）</li> </ul> <p>また、外部団体等の講演会・研修会等への施設の貸し出しを積極的に行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">外部使用件数</td> <td style="text-align: right;">使用料</td> </tr> <tr> <td>講堂 17 件（無料件数含む）</td> <td style="text-align: right;">180 千円</td> </tr> <tr> <td>研修室 17 件（ " ）</td> <td style="text-align: right;">12 千円</td> </tr> <tr> <td>茶室 21 件（ " ）</td> <td style="text-align: right;">259 千円</td> </tr> <tr> <td>旧管理棟 1 件</td> <td style="text-align: right;">2,857 千円</td> </tr> <tr> <td>計 56 件</td> <td style="text-align: right;">3,308 千円</td> </tr> </table> <p>上記施設の利用案内は、主に博物館のホームページで発信するほか、当館のキャンパスメンバーズ校に対しては、募集要項において施設利用の割引を掲載するなど、有効利用の促進を図った。</p>	外部使用件数	使用料	講堂 17 件（無料件数含む）	180 千円	研修室 17 件（ " ）	12 千円	茶室 21 件（ " ）	259 千円	旧管理棟 1 件	2,857 千円	計 56 件	3,308 千円	 <p>平常展示館講堂（夏期講座）</p>
外部使用件数	使用料													
講堂 17 件（無料件数含む）	180 千円													
研修室 17 件（ " ）	12 千円													
茶室 21 件（ " ）	259 千円													
旧管理棟 1 件	2,857 千円													
計 56 件	3,308 千円													

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<p>講堂の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 48 年から毎週土曜日に開講の「京都国立博物館土曜講座」の会場として活用し、目標件数である 45 回をクリアした。</li> <li>・ 土曜講座は、本年度開講 1600 回を迎え固定客も付き、当館の長寿看板講座の位置を築いている。</li> <li>・ 当館の恒例となっている夏期講座の講演会場として講堂を利用した。</li> <li>・ 特別展覧会開催に関連するコンサート会場として使用し、開催の都度、販売チケットが完売に近い状況である。</li> <li>・ 年 4 回、四季それぞれの時候にあわせた「京都・らくご博物館」の開催会場として活用し、毎回ほぼ満席の盛況にある。</li> </ul> <p>特別展示館の中央ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別展覧会のプレイベントとして、同館の中央ホールでバロックコンサートを開催したところ、超満員の盛況であった。</li> <li>・ 今回で 4 回目を迎えるオペラコンサートを本年も開催し、2 日間のオペラチケットは、開催 3 週間前には完売するなど、博物館の会場で実施することへの反響が高い。</li> </ul> <p>旧管理棟等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャンパスメンバーズ加入校の資料館改修工事に伴い、同校の学術図書の保管場所として同工事が完成するまでの期間、当館の施設を有償で使用させた。</li> <li>・ 当館に茶室が設けられていることが徐々に浸透してきたのか茶道愛好家の利用が多くなってきた。</li> </ul> <p>上記の施設は、どれにおいても老朽化が進み、施設有効利用を図るには、それぞれに補修工事を施す必要がある。このため、有効利用の促進を図るには相当の経費導入が不可欠である。</p>
--------------------------	---

定量的評価	項目	実績	目標値	評価
	施設の有効利用件数	56 件	—	—
	うち有償利用件数	30 件	—	—

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。
----------------	-----------------------

【書式A】

施設名 奈良国立博物館



処理番号 2903

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進
-----	---------------

事業概要	公開講座等を開催し、施設の有効利用を図る。また日本文化の紹介や入館者の拡大を目的としたコンサートなどを実施し、施設の有効利用を図る。
------	--

担当者	担当部課	総務課渉外室	事業責任者	渉外室長 植田義雄
-----	------	--------	-------	-----------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用 講堂：公開講座（15回）、サンデートーク（12回）、正倉院展ボランティア解説（17日間計79回）、世界遺産学習（33校）</li> <li>・イベント等の実施（計45回） 敷地内：和太鼓演奏会、クラシックカーラリー 講堂：特別講座「香文化について」、雅楽のタベ、クリスマスフルートコンサート、奈良博寄席、春日若宮おん祭りの舞楽、お水取り「講和」と「粥」の会 仏教美術資料研究センター：フォルテピアノコンサート 地下回廊：子供絵画展示会</li> </ul>	 クラシックカーラリー	 奈良博寄席
-------	--	---	---

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本クラシックカーラリー2007 大和路・奈良」のメイン会場として敷地内貸与及び協力した。敷地内にラリー参加者のクラシックカーが一同に集結し、起点となるゲートなどが設置された。当日はカーラリー参加者のみならず、一般見学者及びマスコミ関係者が多数訪れ、施設の有効活用とともに、当館への注目を集める機会となった。</li> <li>・重要文化財である仏教美術資料研究センターを結婚式会場として貸与した。結婚式会場としての貸与は昨年度に続き2回目であり、今後も当館の施設貸与事業に関する広報活動に力を入れていく。</li> <li>・講堂で実施した落語イベントの新春寄席は、主催として初の試みであったが、参加者から非常に好評意見であったので、定期的な開催をめざし講堂使用率も高める。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価
	施設の有効利用件数	122件	—	—
	うち有償利用件数	18件	—	—

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。
----------------	-----------------------

【書式A】


施設名 九州国立博物館 処理番号 2904

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進
-----	---------------

事業概要	① 講座・講演会等を開催する。 ② 講堂等の利用案内を関係団体、学校等に対し積極的に行う。 ③ 国際交流及び日本文化の紹介や入館者の拡大を目的としたコンサートなどを実施し、施設の有効利用を図る。
------	---

担当者	担当部課	総務課、交流課	事業責任者	総務課長 浅井浩文 事務主査 元永行英
-----	------	---------	-------	------------------------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流展示室を分かりやすく紹介する講座の開催を行った。また、各特別展に関連する講演会を実施した。</li> <li>・ミュージアムホール・エントランスホール・研修室等において、各種団体主催のイベントを開催した。</li> <li>・希望団体等にはミュージアムホールや研修室の貸し出しを行った。</li> <li>・アジアをはじめとする海外のイベントにより、国際的な情報の発信を行う一方、「留学生の日」イベント等の開催を通して、日本文化を海外の方々へ向けて発信した。</li> <li>・ワークショップや、コンサートの開催等、従来にない取り組みを館内で継続的に実施し施設の有効活用を促進した。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">ミュージアムホールの利用 73 件 (内 有料 5 件)                  研修室の利用 33 件 (内 有料 21 件)                  その他(エントランスホール外) 82 件 (内 有料 2 件)</p>	 <p>きゅーはくミュージアムコンサート</p>
-------	--	---

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流展示室を分かりやすく紹介するミュージアム講座を実施した。</li> <li>・特別展ごとに関連講演会を実施して、展示内容やその背景等を分かりやすく紹介した。</li> <li>・内容を勘案したうえで、ミュージアムホール・エントランスホール・研修室等において、各種団体主催の持ち込みイベントを実施し、来館者サービスを充実させるとともに、施設を有効に活用した。一方で、希望団体にはミュージアムホールや研修室の貸し出しを行った。</li> <li>・各種国際シンポジウム、韓国・カンボジア・インドなどに関するイベント、「留学生の日」イベント等の開催を通して、海外の情報を来館者に分かりやすく紹介するとともに、日本文化を海外の方々へ向けて発信した。</li> <li>・ガムランワークショップや、コンサートの開催等、従来にない取り組みを館内で継続的に実施して、施設の有効活用を促進した。</li> <li>・屋外において足湯イベントや物産展等を開催して、施設の有効活用をはかった。</li> </ul>
--------------------------	---

定量的評価	項目	実績	目標値	評価
	施設の有効利用件数	188 件	—	—
	うち有償利用件数	28 件	—	—

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対し、順調に成果を上げている。
----------------	----------------------

【書式A】

施設名 東京文化財研究所

処理番号 2905

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化			
事業名	(3) 施設有効使用の推進			
事業概要	会議室、セミナー室等一般の利用に供することが可能な施設の有料貸付を実施し、施設の有効利用の推進を図る。			
担当者	担当部課	東京文化財研究所管理部	事業責任者	東京文化財研究所管理部長 永井義美
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー室・会議室等を活用することにより、施設の有効利用の推進を図った。</li> <li>・研究成果を、広く一般にも公表するためのオープンレクチャーを毎年秋に開催。また、このレクチャーは、台東区との連携事業として「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の講演会シリーズのプログラムの一つとしても企画された。</li> </ul>			
定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部団体等に広く講演会・シンポジウム等の定期的な会場として提供することにより、一定の収益があった。</li> </ul>			
定量的評価	項目	実績	目標値	評価
	施設の有効利用数	266 件	-	-
	うち有償利用件数	40 件	-	-
中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。			

【書式A】

施設名 奈良文化財研究所

処理番号 2906

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進
-----	---------------

事業概要	会議室、セミナー室等一般の利用に供することが可能な施設の有料貸付を実施し、施設の有効利用の推進を図る。
------	---

担当者	担当部課	奈良文化財研究所管理部	事業責任者	奈良文化財研究所管理部長 西村博美
-----	------	-------------	-------	----------------------

実績・成果	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">施設名</th> <th style="width: 50%;">19 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平城宮跡資料館講堂</td> <td>164 件 (内 有償貸与 2 件)</td> </tr> <tr> <td>平城宮跡資料館小講堂</td> <td>168 件 (内 有償貸与 5 件)</td> </tr> <tr> <td>寄宿舍施設</td> <td>1,471 件 (内 有償貸与 56 件)</td> </tr> <tr> <td>飛鳥資料館講堂</td> <td>18 件 (内 有償貸与 0 件)</td> </tr> <tr> <td>その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)</td> <td>20 件 (内 有償貸与 12 件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>1,841 件 (内 有償貸与 75 件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 調査研究成果を公表する場として、また、調査研究の進展に資することを目的として多岐にわたる各研究分野において、講習会・研究会・学会等を開催した。</p> <p>② 広く国民に文化財への理解を求めべく、セミナー及び一般参加型のイベント等を開催した。</p> <p>③ 一般利用申し出への行政サービスの向上を図る方針のもとに、HP 上での施設利用紹介等による積極的有効利用 (貸付等) の促進を図った。</p> <p>④ 奈良文化財研究所が企画実施する研修等に際して、宿泊施設の有効活用を図った。</p> <p>⑤ 特別展示・企画展示期間において講演会を開催した。          ・夏期企画展示 (「とき」を撮すー発掘調査と写真ー) (約 30 名参加)          ・秋期特別展示 (2 日・134 名参加)          団体入館者の要望に応じて、大型モニター映像による集合解説を実施した。(年間 15 回・1 回平均 30 名参加)</p> <p>⑥ 上記のほか、平城宮跡資料館、飛鳥資料館及び藤原宮跡資料室の各ミュージアムショップ (売店) の運営を外部委託し、図録等の販売を通して来館者の利便に供した。</p>	施設名	19 年度	平城宮跡資料館講堂	164 件 (内 有償貸与 2 件)	平城宮跡資料館小講堂	168 件 (内 有償貸与 5 件)	寄宿舍施設	1,471 件 (内 有償貸与 56 件)	飛鳥資料館講堂	18 件 (内 有償貸与 0 件)	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	20 件 (内 有償貸与 12 件)	合計	1,841 件 (内 有償貸与 75 件)
施設名	19 年度														
平城宮跡資料館講堂	164 件 (内 有償貸与 2 件)														
平城宮跡資料館小講堂	168 件 (内 有償貸与 5 件)														
寄宿舍施設	1,471 件 (内 有償貸与 56 件)														
飛鳥資料館講堂	18 件 (内 有償貸与 0 件)														
その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)	20 件 (内 有償貸与 12 件)														
合計	1,841 件 (内 有償貸与 75 件)														

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	・施設の有効利用及び調査研究の進展並びに行政サービスの向上を包括的に捉えて、事業運営の展開を図った。
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	
	施設の有効利用件数	1,841 件	—	—	
	うち有償利用件数	75 件	—	—	

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。
----------------	-----------------------



【書式A】

施設名

処理番号

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(4) 民間委託の推進
-----	-------------

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般管理部門を含めた組織・業務の見直しを行い、民間開放をさらに積極的に進める。</li> <li>・ 館の警備・清掃業務について民間委託を推進する。</li> <li>・ 来館者サービスを中心に業務の見直しを行い、民間委託を積極的に進める。</li> </ul>
------	--

担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館営業開発部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課	事業責任者	事務局長 吉田 靖
-----	------	---	-------	-----------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気・機械等施設設備保守、清掃業務、警備業務、展示室監視、売札業務等については、大部分が民間委託を実施している。</li> <li>・ 来館者サービスに関するものでは、図書館業務、インフォメーション業務、電話案内業務などについて、民間委託を進めている。</li> <li>・ 各種事務補助作業等については、労働者派遣による民間委託を推進している。</li> <li>・ また、複数の業務についての包括契約化、複数年契約、近隣の機関及び法人内同一地域での一括契約などにより、経費の効率化を図っている。</li> </ul>
-------	---

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能な業務については、概ね民間委託が実施されている。</li> <li>・ 外部委託の増加に伴い、契約手続きや指導・監督の業務負担も増加するなど、人件費削減が求められている現状では、限られた職員での対応が困難な場合も生じてきている。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して順調に成果を上げている。
----------------	----------------------

【書式A】

施設名

処理番号

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(5) 競争入札の推進
-----	-------------

事業概要	一般競争入札を推進することにより、経費の効率化を図る。
------	-----------------------------

担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館営業開発部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課	事業責任者	事務局長 吉田 靖
-----	------	---	-------	-----------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の統合に伴い、一般競争契約の限度額を見直し国の規準と同額とした。</li> <li>なお、基準額に達しない契約の場合も、可能なものについては一般競争入札を実施している。</li> <li>また、複数の契約の内容をまとめて1件の契約とする包括契約の実施、近隣の他機関及び、法人内同一地域と共同で数量をまとめて発注し事務を分担する共同購入、単年度契約の複数年契約への変更などにより、経費の効率化を図っている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>一般競争入札件数</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>59件</td> <td>98件</td> <td>39件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	18年度	19年度	増減	件数	59件	98件	39件
年度	18年度	19年度	増減						
件数	59件	98件	39件						

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般競争契約限度額の見直しなどにより、前年度に対する一般競争入札の件数は大きく増加した。</li> <li>総務省からの要請に基づき、「独立行政法人整理合理化計画」の一環として、随意契約の見直しを行い、随意契約によることがやむを得ないものを除き、20年度から順次競争契約に移行する予定である。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して順調に成果を上げている。
----------------	----------------------

【書式A】

施設名 法人全体

処理番号 3200

中項目	2 事業評価の実施、職員の理解促進、意識や取り組みの改善
-----	------------------------------

事業名	2 事業評価の実施、職員の理解促進、意識や取り組みの改善
-----	------------------------------

事業概要	事業評価を通じた業務運営の改善、質的向上を図ると同時に、職員の意識改革を図る。
------	---

担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 山内浩一
-----	------	-------	-------	-------------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度より2法人が統合したことに合わせて、これまで博物館では「実績報告」という形で行っていた評価を研究所同様に「自己点検評価」と改め、職員個々人からの業務改善の意欲を促せるような仕組みに改めた。</li> </ul>
-------	---

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価に関していえば、機構としては初であるが、事業年度終了後に実施するため、未だその効果や方法の是非は不明であり、次年度に改めて評価したい。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	
		-	-	-	

中期計画期間における進捗状況	中期計画に対して、順調に成果を上げている。
----------------	-----------------------

【書式A】

施設名 法人全体

処理番号 3300

中項目	3 情報の安全性向上
-----	------------

事業名	3 情報の安全性向上
-----	------------

事業概要	情報の安全性向上のための必要な措置を実施する。
------	-------------------------

担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者	総務企画課長 山内浩一
-----	------	-------	-------	-------------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C I O の設置、C I O 補佐役の設置              機構の情報化全体を指導統括する権限及び責任を有し、情報システムの管理運営に関する統括者としてC I Oを、また、C I O及び各施設の長に対して、業務の改革や情報システムの分析・評価についての支援・助言を行うC I O補佐役を設置した。</li> <li>・ 国立文化財機構情報システム管理・セキュリティ対策基本方針及び独立行政法人国立文化財機構情報システム管理規程の策定              国立博物館と文化財研究所が統合したことにより、機構における情報化の推進及び情報システムの管理運用について必要な事項を新たに定め、電子情報の処理について適正かつ効率的な管理運用を図り、もって機構における業務の効率化及び情報セキュリティの確保を目的とした。</li> <li>・ 国立文化財機構情報システム部門連絡会の開催              各施設情報システム部門担当職員が実務上の意見交換を行い、今後の円滑な情報の流通と業務の改善を図ることを目的に開催した。</li> <li>・ 情報化委員会の設置              C I Oは情報化担当等による情報化委員会を主催し、機構の情報化を推進するために設置した。</li> <li>・ 個人情報保護に関する教育研修の実施（東博）              19年7月18日に文部科学省大臣官房総務課情報公開・個人情報保護室個人情報保護専門官を講師に個人情報保護法の研修を実施し、職員の個人情報保護に対する意識を高めた。</li> </ul>
-------	--

定性的評価 (目標に対する成果の達成状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6施設の情報担当者との連絡を密にして機構としての情報セキュリティポリシーとして、情報システム管理・セキュリティ対策基本方針と情報システム管理規程の策定を行い、情報の安全性向上に向けた取組みが実施できた。</li> <li>・ 引き続き、C I Oを中心に情報化委員会、情報システム部門連絡会等において、機構の電子情報の処理について適正かつ効率的な管理運営に取り組むこととしている。</li> </ul>
--------------------------	--

定量的評価	項目	実績	目標値	評価

中期計画期間における進捗状況	
----------------	--

【書式A】

施設名 法人全体

処理番号 3400

中項目	4 人件費の削減
-----	----------

事業名	4 人件費の削減
-----	----------

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成 18 年法律第 47 号)に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成 18 年度からの 5 年間に於いて、5%以上の人件費削減を行う。</li> <li>国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系の見直しを行う。更に「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2006」(平成 18 年 7 月 7 日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成 23 年度まで継続する。</li> </ul>
------	--

担当者	担 当 部 課	本部総務企画課	事業責任者	総務企画課長 山内浩一
-----	------------	---------	-------	-------------

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費削減実績 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>17 年度 (A 分類実績ベース)</th> <th>18 年度</th> <th>19 年度</th> <th>22 年度目標値 (17 年度に比して △5.00%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績 (千円)</td> <td style="text-align: right;">2,886,652</td> <td style="text-align: right;">2,789,361</td> <td style="text-align: right;">2,773,689</td> <td style="text-align: right;">2,742,319</td> </tr> <tr> <td>前年度に対する 削減率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">△3.37%</td> <td style="text-align: center;">△0.39%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>17 年度に対する 削減率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">△3.37%</td> <td style="text-align: center;">△3.91%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>人事給与事務を統一的に処理することができる人事給与システムの導入に取り組み、20 年 4 月から稼働することができた。</li> </ul>		17 年度 (A 分類実績ベース)	18 年度	19 年度	22 年度目標値 (17 年度に比して △5.00%)	実績 (千円)	2,886,652	2,789,361	2,773,689	2,742,319	前年度に対する 削減率	-	△3.37%	△0.39%	-	17 年度に対する 削減率	-	△3.37%	△3.91%	-
	17 年度 (A 分類実績ベース)	18 年度	19 年度	22 年度目標値 (17 年度に比して △5.00%)																	
実績 (千円)	2,886,652	2,789,361	2,773,689	2,742,319																	
前年度に対する 削減率	-	△3.37%	△0.39%	-																	
17 年度に対する 削減率	-	△3.37%	△3.91%	-																	

定性的評価 (目標に対する 成果の達成 状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費は 18 年度と比較して約 1,600 万円減の 27 億 74 百万円となった。18 年度と比較すると 0.39%減にとどまっているが、これは 18 年度に大きく削減したことによるものであり、22 年度までの 5%削減という目標に向けて順調に進捗している。</li> <li>人事給与システムを導入したことにより、人件費の統一的な管理が可能となったことは、今後の人件費の削減に向けて有益である。</li> </ul>
----------------------------------	---

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	
	人件費削減率 (17 年度比較)	△3.91%	17 年度決算額 に比して 5 年 間で 5%削減	-	

中期計画期 間における進 捗状況	中期計画に対して、順調に成果をあげている。
------------------------	-----------------------